

横浜市鶴見区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会議事録
(潮田地域ケアプラザ、矢向地域ケアプラザ、寺尾地域ケアプラザ、
東寺尾地域ケアプラザ、駒岡地域ケアプラザ、生麦地域ケアプラザ)

開催期間	令和2年5月12日(火)から令和2年6月5日(金)まで
開催方法	書面開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた委員決議により、対面開催から方法を変更)
参加者	<p>【委員長】 峯尾委員 (特定非営利活動法人介護の会まつなみ副理事長、 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科前教授)</p> <p>【委員】 清水委員(東京地方税理士会鶴見支部支部長) 大伴委員(つるみ子育て・個育ちフォーラム運営委員会会長) 烏田委員(鶴見区老人クラブ連合会会長) 藤田委員(鶴見区障害児・者団体連合会会長)</p> <p>【臨時委員】 《潮田地域ケアプラザ》 佐藤委員(小野町地区自治連合会会長) 谷山委員(潮見橋地区自治連合会会長) 中村委員(潮田西部地区自治連合会会長) 福士委員(潮田東部地区自治会連合会会長) 山内委員(潮田中央地区連合会会長) 《矢向地域ケアプラザ》 菊委員(矢向地区連合町内会会長) 黒川委員(江ヶ崎町内会会長) 《寺尾地域ケアプラザ》 新田委員(寺尾地区自治連合会会長) 山田委員(寺尾地区自治連合会副会長) 《東寺尾地域ケアプラザ》 海老塚委員(生麦第二地区社会福祉協議会会長) 《駒岡地域ケアプラザ》 小塚委員(駒岡地区連合会会長) 西澤委員(下末吉地区自治連合会事務局長) 渡邊委員(上末吉地区自治連合会会長) 《生麦地域ケアプラザ》 飯田委員(生麦第一地区社会福祉協議会会長)</p>

	<p>石川委員（生麦第一地区連合会会長） 《東寺尾地域ケアプラザ・生麦地域ケアプラザ》 杉浦委員（生麦第二地区連合会会長）</p>
事務局	<p>鶴見福祉保健センター 菊池センター長 今仁担当部長 市川福祉保健課長</p>
欠席者	なし
傍聴者	5人（書面審査資料、質疑応答書面一式及び本議事録の送付）
開催形態	<p>一部公開 （応募団体の面接及び質疑応答は、応募団体関係者を除き公開）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委員長より委員あて書面開催とする通知を5月12日付で送付 2 書面審査の後、委員から応募団体あて質疑及び意見書を提出 3 応募団体から委員あて質疑及び意見書への回答書の送付 4 委員から応募団体あて再意見書の送付 5 委員から委員長あて採点表の送付 6 委員長から委員あて選定結果について決議案を送付し、6月5日付で決議完了
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市潮田地域ケアプラザに関する指定管理者の選定について <p>（1）応募状況の確認 1団体から応募。 （応募団体：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会）</p> <p>（2）主な質疑応答 委員：新型コロナウイルス感染症対策について、令和3年度から、あるいは現在からでも新しい対処・工夫を考えているか。 法人：緊急事態宣言を受けた横浜市の方針に基づく貸館業務の休止や開館時間の短縮のほか、ボランティア団体による配食サービスなど多くの事業が中止となり様々な課題が出ている。課題整理を行い、情報の収集や発信について仕組みを構築していく。また、ケアプラザを拠点とした配食サービスの再開が困難な場合は、地域企業との連携も検討していく。 委員：十分な業務実績を有しているが、いかなる組織でも成長と衰退の周期サイクルがある。また、他に指定管理の応募者がいないケースも続いている。初心を維持すること</p>

などの工夫や、利用者の特性に応じたサービスを引き続きお願いしたい。

法人：法人として「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作りだす」という活動理念を全職員が共有している。初心を忘れないよう、常に常に地域の皆様とともに成長して行くという気持ちで施設運営を進めていく。また、施設を複数運営するノウハウを活かして今後も利用者様に寄り添ったサービスを提供していく。

委員：職員育成のため、様々な研修計画など企画されており、法人や年長者職員のスキルも新人にバトンタッチされている風土があることもうかがわれる。加えて、「意欲」や「やる気」などモチベーションのアップや維持を図る人事施策などを示してほしい。

法人：職員の能力に応じた目標設定を行い、管理職が進捗管理を行っている。外部研修への参加や、日々の OJT と定期的な管理職との面談を通じて職員の取り組むべき役割を明確にしている。今後はキャリアパスなど、より意欲的に業務に取り組める仕組みを構築していく。

(3) 審査結果

委員 10 名合計の得点は次の通りであった。

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

2, 317 点 / 満点 3, 150 点

以上の結果から、最低制限基準（1, 800 点）を満たしているため、指定管理者の候補者に社会福祉法人横浜市社会福祉協議会を選定する。

2 横浜市矢向地域ケアプラザに関する指定管理者の選定について

(1) 応募状況の確認

1 団体から応募。

(応募団体：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会)

(2) 主な質疑応答

委員：新型コロナウイルス感染症対策について、令和 3 年度から、あるいは現在からでも新しい対処・工夫を考えているか。

法人：職員の出勤前の検温やマスク着用、手洗い等の徹底のほ

か、施設内の衛生管理、デイサービスの利用人数制限などに取り組んでいる。貸館の利用再開後も基本的な対策を継続するほか、こちらから出向いて小規模単位な体操や脳トレなどの自主事業を実施する等、新たな取組を行っていきたい。

委員：自主企画事業の「とちのき子育てサロン」にはどのくらいボランティア団体が関わっているのか？

法人：3つのボランティア団体と地域ケアプラザエリア内の6つの保育園の先生方が関わってくれている。参加者からの評判も良く、子育て中の方やお子さんとふれあい、交流できる貴重な機会となっている。今年度もミニ講座等を予定しており、順次再開していく。

委員：組織として人材育成に尽力していると思う。職員のモチベーションを高くすることなどを続けてほしい。

法人：今後も矢向地域ケアプラザの理念である「地域が主役」「身近な相談者」「つながりを大切に」を常に念頭に置きながら、人材育成や職員のモチベーションの維持・向上に努めていく。

(3) 審査結果

委員7名合計の得点は次の通りであった。

社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

1, 725点／満点2, 205点

以上の結果から、最低制限基準（1, 260点）を満たしているため、指定管理者の候補者に社会福祉法人横浜市福祉サービス協会を選定する。

3 横浜市寺尾地域ケアプラザに関する指定管理者の選定について

(1) 応募状況の確認

1 団体から応募。

(応募団体：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会)

(2) 主な質疑応答

委員：新型コロナウイルス感染症対策について、令和3年度から、あるいは現在からでも新しい対処・工夫を考えているか。

法人：貸館業務の休止により、地域の定例会や体操教室、ボ

ランティア団体による配食サービスなど多くの事業が中止となり、課題が出ている。これらを整理し、情報収集や発信の仕組みを構築する。窓口では消毒などの予防対策を徹底するほか、参加人数や換気、会場に配慮し、安心して事業開催ができるよう進めていく。また、高齢者の困りごとの増加が想定されるため、見守り機能を強めていく予定。

委員：十分な業務実績を有しているが、いかなる組織でも成長と衰退の周期サイクルがある。また、他に指定管理の応募者がいないケースも続いている。初心を維持することなどの工夫や、利用者の特性に応じたサービスを引き続きお願いしたい。

法人：法人として「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」という活動理念を全職員が共有している。初心を忘れないよう、常に常に地域の皆様とともに成長して行くという気持ちで施設運営を進めていく。また、施設を複数運営するノウハウを活かして今後も利用者様に寄り添ったサービスを提供していく。

委員：開設して24年が経過し、登録団体を再度確認するような作業も必要と思う。また、職員の異動等により団体の歴史がわからない部分があるのではないか。

法人：年に1度、利用者懇談会を開催して、活動内容の把握に努めている。また、3年毎の登録更新時に、活動内容を書面で確認している。団体の歴史については、記録を残して引き継いでいくよう努めている。

(3) 審査結果

委員7名合計の得点は次の通りであった。

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

1, 626点 / 満点2, 135点

以上の結果から、最低制限基準(1, 218点)を満たしているため、指定管理者の候補者に社会福祉法人横浜市社会福祉協議会を選定する。

4 横浜市東寺尾地域ケアプラザに関する指定管理者の選定について

(1) 応募状況の確認

1 団体から応募。

(応募団体：社会福祉法人 若竹大寿会)

(2) 主な質疑応答

委員：今般の新型コロナウイルス感染症対策について、特に新しい対処工夫は考えているか。

法人：感染防止対策としてエントランスホールにビニールを間に設置して対応している。今後も来館相談者と職員双方の健康と安全を十分に考慮して相談対応していきたい。法人では会議や研修をウェブで開催しているが、将来的には地域との会議にもウェブで参加するなど新しい生活様式の推進に地域と共に考えていきたい。

委員：ケアプラザ条例に沿った基本に忠実な運営を心がけ、人材育成にも十分な配慮がなされていることがうかがえる。これから新型コロナウイルスとの共生を見据えた取り組みも大きな役割になることが想定される。地域の福祉人材教育支援を引き続きお願いしたい。

法人：職員一同各自が担う専門職としての役割を十分に発揮できるように経験や知識を深めていく。コロナを含む緊急事態であっても地域で孤立することなくいつまでも住み慣れた地域で暮らすことを実現できるよう地域に信頼されるケアプラザ運営に努める。

(3) 審査結果

委員 7 名合計の得点は次の通りであった。

社会福祉法人 若竹大寿会

1, 6 2 2 点 / 満点 2, 1 3 5 点

以上の結果から、最低制限基準（1, 2 1 8 点）を満たしているため、指定管理者の候補者に社会福祉法人若竹大寿会を選定する。

5 横浜市駒岡地域ケアプラザに関する指定管理者の選定について

(1) 応募状況の確認

1 団体から応募。

(応募団体：社会福祉法人 横浜鶴声会)

(2) 主な質疑応答

委員：今般の新型コロナウイルス感染症対策について、特に新しい対処・工夫を考えているか。

法人：不確かな情報も多いため、常に情報を収集しながら状況に応じた対応を行いたい。ウェブ会議を行うための機材の調整や透明なシートを受付に設置するなどの対策を行っている。

委員：子育て支援事業に力を入れている。児童虐待など多くなっているなか、地域で子供を見守る時代に入っている。

法人：地域で子供を見守っていくためには地域の力が重要であり、地域との情報共有も今まで以上に行っていかなければならない。情報活用のためより一層個人情報の扱い方についてもスキルアップを目指していく。

委員：地域との信頼関係の情勢や地域の福祉向上に向けた取り組みのためにも職員のモチベーションにも配慮された人材育成をお願いしたい。

法人：当法人では、施設間での移動が少ないため、同じポジションで長く働いている職員が数多くいる。地域と顔なじみになるには、年数が重要だと考えているため、大きなメリットであると考えている。一方、一つの職場に長くとどまることによるモチベーションの低下があると思われるため、人事考課制度を導入し個々の目標を立てられるように育成をしていく。

(3) 審査結果

委員 8 名合計の得点は次の通りであった。

社会福祉法人 横浜鶴声会

1, 833 点 / 満点 2, 520 点

以上の結果から、最低制限基準（1, 440 点）を満たしているため、指定管理者の候補者に社会福祉法人横浜鶴声会を選定する。

6 横浜市生麦地域ケアプラザに関する指定管理者の選定について

(1) 応募状況の確認

1 団体から応募。

(応募団体：社会福祉法人 横浜 Y M C A 福祉会)

(2) 主な質疑応答

委員：今般の新型コロナウイルス感染症対策について特に新しい対処工夫は考えているか。

法人：国から発表された、「新しい生活様式」に対応した運営ガ

	<p>イドラインを策定し、事業運営を行っている。 感染症防止対策を家庭と共に行うことで教育の視点も持ちながら運用を行うよう策定した。</p> <p>委員：収支計画の収支がマイナスとなっているのは、固定比率が高いためか、収入確保が見込めないためか。</p> <p>法人：実施予定の居宅介護支援事業と介護予防支援事業は他の介護保険事業と比べ報酬単価が低いこと、居宅介護支援事業には担当件数制限があることなどの理由で、収入確保が難しい状況である。固定費削減ができるよう人員配置を見直すとともに変動費についても削減を目指す。 なお、不足する財源については法人全体でカバーしていく。</p> <p>委員：法人そのものが歴史的に長い経験を積んでおり、理念や基本方針が計画に反映されていると感じる。これから地域の福祉拠点として活動して頂きたい。</p> <p>法人：地域の方々にとってより住みやすい町にするために、地域や行政、諸団体との連携を密に取りながら人と人とのつながりを大切にしていく。</p> <p>(3) 審査結果</p> <p>委員 8 名合計の得点は次の通りであった。 社会福祉法人 横浜 Y M C A 福祉会 1, 9 6 6 点 / 満点 2, 4 0 0 点</p> <p>以上の結果から、最低制限基準 (1, 4 4 0 点) を満たしているため、指定管理者の候補者に社会福祉法人横浜 Y M C A 福祉会を選定する。</p>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 応募団体からの書面審査資料 2 前期の指定管理業務の実績 3 財務状況に関する意見書 4 質疑及び意見書 5 質疑及び意見への回答書 6 再意見書 7 指定管理者評価基準項目別評価結果 (採点表) 8 横浜市鶴見区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会委員名簿 9 横浜市鶴見区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱 10 横浜市鶴見区地域ケアプラザの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱

